

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 R6/9/4～R6/9/18

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 12名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	8人	4人	人	12人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・本人と、しっかり関わる事。ご家族様の話もしっかり聞き、小さな事でも連絡帳に記入し、共有する。 ・日々日々から、その方に何が必要なのか? 考えて関わっていく。 ・報告、連絡、相談しながら、その方のADLや生活スタイルを、もっと把握しケアしていく。 ・観察力や理解力の向上、関わり方といった勉強会も開催し、職員のレベルやケアの統一を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様への関わり、観察力、理解力などのレベル差があり、利用者の全体像を把握した上で、対応を臨機応変に考えるべきである。もっと利用者様を五感でみるべき。 ・報告、連絡、相談が出来ていない事が多く、共有出来ていない。 ・ご家族様の要望は良く連絡帳に記入してあり、共有出来ている。 ・普段から利用者様の変化等は、良く職員から声は出ているが、都度対応をして、良いケアが出来ているかの話し合いは出来ていないと思う。 ・対面で話を聞いている時など、相槌や明るい声なども聞こえたりして、しっかり関わっていた。 ・変わった事があれば、随時情報共有している。 ・カンファレンス等で検討しながら、対応出来ている。 ・スタッフ個々に合わせた研修をしている。 ・努力はしようとしているが、実際には中々出来ていない事が多い様に思う。 ・まだまだ把握出来ておらず、本人様や職員から情報を得ているが、聞いた事を今後活かしていきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		10	2		12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	10			12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	8	3		12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1	9	2		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・介護タクシーや配食サービス、民生委員さんや近隣の方などの協力を得て、支援している。 ・利用者様やご家族様が困っておられる場合、泊まりなど空きがあれば受け入れ、またデイ、訪問においても、利用者様の状態などを考慮し、受け入れる様に努められていた。 ・気付いた時点で報告し、その時は動けている。 ・本人様や、ご家族様にニーズに対して、相談し、適切に動けている。 ・介護度によっては、毎日のサービスが出来ない事もあるが、配食サービス等を利用してもらう事で、支援出来ている。 ・利用者様、ご家族様のニーズに応じて、泊まり、通い、訪問の追加、キャンセルに対応出来ている。 ・コロナ禍で、訪問の追加、支援等出来ている。 ・本人の変化に気付いて、適度な距離での声掛けが出来ていた。 ・朝礼時やカンファレンス、連絡帳などで共有しながら出来ている。 ・利用者様の ADL を把握しながら、生活スタイルに合わせたケアが出来ている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・変化に合わせて、支援するための、気付きの共有や相談が出来ていない事がある。 ・排泄、入浴、食事介助などの業務が機械的というか、「ただこなす」状態になりつつないか不安。 ・「本人の変化」に気付いていても、全職員がその事を把握、共有出来ていない事が多い。 ・ケア記録にどんな些細な事でも記録出来ていないのではないか。 ・連絡帳に記入する事も出来ていない。日本人以外でも記入出来るようにしないといけない。 ・インカムでの情報共有が出来ていない。 ・全利用者様については、状況によっては不十分な事もある。 ・フロア全体が見れていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇さんが椅子を引かれました。トイレに行きたいのかも知れません」や、「〇〇さんが、動こうとされています」など、インカムで共有する。 ・当日だけでなく、翌日の職員にも共有出来るように、昨日の要注意者や重要な事は朝礼で共有する。 ・多職種連携の記録を、ご家族様連絡帳や、職員共有の連絡ノートにも記入していく。 ・朝礼やショートカンファレンス等で、気付きの共有をしたり、こうしたケアをしたらどうか等、話をしていく。 ・利用者様の楽しみ、笑顔を引き出す関わり方を考える。 ・1人1人が、責任を持つこと。個々の重要な事を知り、理解する事。 ・「日々の記録」本人の変化をしっかりと日々記録出来ているか、ケア記録にしっかりと落とし込む事。 	